

## 2日目の様子

入門講座・分科会の様子をそれぞれご紹介します。

講座

入門

参加者 57 名



講師の石橋大吾氏からのメッセージ「明日の日本を担う若人たちよ!ともに明日の日本を創ろう!」を受け取り、ここで仲間と出会い、自分にとってもプラスになるものは何か一緒に考える分科会となりました。



初めての参加ですので「入門」に参加しました。講義のテーマは「人権」と「権利」でした。これまでのろうあ運動のおかげで何を達成したか、またこれからどんな取り組みが必要かについて学びました。ワークショップで他の都道府県の若者とディスカッションでき、様々な意見を聞いて非常によい経験ができました。来年ぜひまた参加したいと思います。(福島、ハーゼ・ハナ)



第1分科会

暮らし

参加者 36 名



河原雅浩氏を助言者に迎え、「私たちの暮らしは私たちで変えよう」という思いをもとに手話通訳派遣制度や障害者差別解消法を学び、デジタルによるコミュニケーション支援について考えを深めました。



さまざまな法律運動などについて話を聞く機会がなかなかなかったので、良い勉強になりました。自分自身、熊本地震で被災した経験があり、今でもまだ課題があるので、青年部として何かしないと変わらないと改めて感じました。

(福岡、穂田誠)



全青研新聞 in ふくしま



速報

第14号

2024年  
11月2~4日

第2  
分科会

## 労働

参加者 30 名



障害者雇用が進むものの、職場で生じる「壁」をどう壊すか？障害者雇用促進法を改めて学び、自分にとって働きやすい職場づくりを助言者の岩山誠氏とともに参加者で話し合いました。



これから何十年も付き合っていく「労働」について、詳細を知らないままで良いのか…と思ったので、改めて学習できる良い機会となりました。意見を交わして、参考になることも多くあり、充実した一日となりました。

(北海道、仲田成沙)

## 保育の様子

分科会の時間は保育士たちと一緒に過ごしていました



第3  
分科会

## 災害

参加者 39 名



2011年3月11日の東日本大震災を福島県で経験した吉田正勝氏を助言者とし、どんな情報保障が必要か？参加者同士意見を出し合い、明日からの備えを考える分科会となりました。



前半は実際にあった津波や避難した時の動画を見ました。想像していた以上でした。後半はワークショップを行い、実際災害が起きた時にどう対応するのか？議論しました。「災害」へ参加してよかったです!!地元を持ち帰ってやっていきたいです!!

(広島、ももっち)

第4  
分科会

人権  
参加者 40 名



私たちが生活するうえで必要な権利とは？  
助言者の久松三二氏を囲み、ろうあ運動の成果として  
得た、幸せに生きていくための権利をじっくり考え、学  
ぶ時間となりました。



6年ぶりの全青研の参加になります。人  
権とは自分らしく生きるための権利で  
あり、自分を知ること“自分1人はみ  
んなのために、みんなは1人のため  
に”につながるんだと学びました。  
同時に、自分は社会の一部だと強  
く感じました。有意義な時間をあ  
りがとうございました。

(三重、大久保亜衣)



提供品を  
たくさん  
いただきました！

ニッポンエール  
福島県産  
あかつき桃グミ

JA 全農福島から  
提供いただきました！！



第5  
分科会

スポーツ  
参加者 41 名



東京2025デフリンピックを1年後に控えた今、デフリン  
ピックをより盛り上げるためにも、日本におけるデフ  
スポーツの現状や課題を助言者の倉野直紀氏と共に  
考える分科会でした。



来年開催されるデフリンピックに  
向けて、地元でも盛り上げたいと  
思い、参加しま  
した。デフリン  
ピックが目指す  
姿や、デフス  
ポーツの魅力に  
ついて、分科会  
に参加した皆さんと熱  
い討議ができました！！

(福井、前田健吾)



酪王カフェオレ

酪王協同乳業株式会社から  
提供いただきました！！



